やまの健康2.0の推進

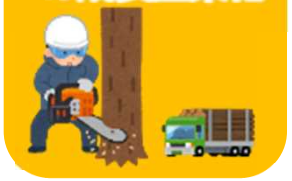
【予算額　３８．７億円】

琵琶湖・森林政策特別委員会　資料２－３
令和６年（２０２４年）５月２１日（火）
琵琶湖環境部森林政策課・びわ湖材流通推進課・森林保全課

森林の適正管理、林業の成長産業化、農山村の活性化が一体となった取組を進めるとともに、県産材利用促進条例をふまえ、やまの資源をフル活用した、環境と経済が両立する滋賀らしいグリーン成長の実現を目指す

森林の適正管理

林業の成長産業化



農山村の活性化

森林の価値の見える化

○(新)関西広域連合と連携した「森林の価値」の研究

「新しい林業」構築モデル事業

○花粉発生源対策を踏まえた主伐・再造林（※一部R5補正予算対応）
(新) 気象データと航空レーザ解析データを用いたゾーニングによる主伐重点地区の検討
・少花粉苗木増産と再造林による発生源抑制対策

○ICT林業
(新) 林業機械メーカー連携による先端技術を活用した主伐・再造林
(新) 川上から川中までのリアルタイムでの素材生産情報の共有化

○新たな森林管理の構築
(新) 長期的視点で山づくりを行うための信託制度の導入

○重点的な人材育成
・主伐・再造林にむけた一貫作業システムの確立とICT林業に対応した従事者の育成

建築物の木造化・木質化

○琵琶湖森林づくり県民税の1%を活用して木質化100%へ（県が整備する建築物）
○木造建築セミナーの開催、(新)木造建築物事例集の作成（民間等が整備する建築物）

木育拠点施設整備　※近江富士花緑公園の魅力向上

○木とふれあうことにより自然とのつながりを学び、豊かな心を育む木育を推進

ドローンによる資材運搬

少花粉苗木

ICTハーベスタ

木造化・木質化例

木育拠点施設イメージ